

令和6年度 第5回大月みらい協議会 会議概要

日 時：令和6年11月27日（水）19時00分～20時37分

場 所：大月市立大月短期大学 L号館1階 会議室

出席委員：白川恵子、鈴木龍子、中島啓介、竹下文仁、山口隆太郎（敬称略）

事務局：小林市長、杉本課長、上條リーダー、石丸主事、福嶋主事補

1 開会（司会：杉本課長）

2 議長あいさつ（中島啓介議長）

本日はお集まりいただきましてありがとうございます。本日は、大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について、皆様からご意見を賜りたいと思います。よろしく申し上げます。

3 議事

議事（1）第2期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

（事務局：福嶋）

11月19日に郵送及びメールにて、総合戦略の進捗状況報告書及び内部評価書について検証のお願いをいたしました。

本日は、視点①大月市生きがい創生委員会による取組評価が妥当かどうか、視点②「令和5年度までの実施効果」・「令和6年度進捗状況」について、ご意見の程よろしく願います。

（竹下文仁委員）

まず、視点①について、ほとんどの施策内容や方針は素晴らしいと思いますが、具体的施策や取組実績の中に効果が低いと思われるものが多数あると思います。効果は乏しいが、実績があるため「概ね効果的である」という評価にしているのが、残念だなと思いました。

視点②についても、「具体的施策名・内容」の中に具体的な施策でないものや、効果の低いものが記載してあるため、来年度から具体的施策をしっかりと議論・検討されると良いと思います。また、現在は短期的な効果を意識されていると思いますが、中長期的な観点でKPIの設定をしていただいても良いのかなと思いました。

（白川恵子委員）

11ページの「大月市ホームページへのアクセス件数」について、目標値は達成していますが、ホームページの閲覧数を数えるだけで良いのか疑問に思いました。これに関連して、13ページのNo.11「多様なソーシャルメディアを活用した情報発信の強化」について、例えばLINEで送られてくる情報は、防災無線で流しているような内容がほとんどですが、多くの市民がLINEを活用しているのもっと大月市が情報発信したいことを流して上手く利用すべきだと思います。

また、15ページのNo. 15にあるアサリマルチベースの内容については、「浅利竹の会」などの活用の記載を増やすとともに、利用率向上に向けさらに情報発信をしていくべきであると思います。

次の16ページの空き家バンクについては、市内に多くある空き家バンクに登録されていない物件の所有者に対して、働きかけるところまで考えて進めていただきたいと思いました。築100年以上と思われる立派な住宅が放置されてそのまま朽ちていくのはもったいないと思いますし、空き家バンクは関係人口の創出にも繋がられると思うので、繋がりを意識して施策を進めていただきたいです。

23ページの男女共同参画については、男女共同参画推進委員会を設置する事で満足するのではなくその先の推進する施策についても考えていただき、評価していただきたいかったです。

最後に25ページの避難所について、現状が市民にしっかり伝わっていないと感じます。市民に伝わる防災についての情報発信をするべきだと思います。

(鈴木龍子委員)

まず、竹下委員が仰っていたとおり実施したことが効果に結びついていることについて、区別が必要だと思いました。

16ページのNo. 16について、エルムーン駒橋が満室にならない理由まで考察し、次年度に繋げていくべきだと思います。

また、ファミリーサポート事業が増加していることに注目しています。これは子育て支援に加えて、サポートしていく側の生き甲斐の創出にも繋がっていると思います。面倒見の良い方が多い土地柄であることが理由であると考察しますが、その方々に専門性を深めてもらうことで、ホームスタート事業等にも繋がっていきけるのではないかと思います。

最後に、平成28年に出された「幼稚園・保育所の再編成に関する市の方針」では、今年110人くらい生まれるという見込みで施設整備を進めているとありましたが、現状と比べるとこの計画どおりのままでいいのか疑問に思っています。

(事務局：上條リーダー)

実務では横断的に行っているものもありますが、確かにこの資料だと表現できていないと思いますので、次期総合戦略では目標設定や施策について検討を進めるとともに、記載の仕方を工夫していきたいと思います。

また、本日いただいたご意見につきましては、大月市生きがい創生委員会へ上げるとともに、特に大きな修正等がなければ取組評価は妥当であるとさせていただきたいと思います。追加でご意見がありましたら、後日電話やメールなどでご連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(中島啓介議長)

それでは、取りまとめたいと思います。生きがい創生委員会の取組評価は妥当であるということですのでよろしいでしょうか。

【未提出の妥当：8名、提出の妥当：3名】

生きがい創生委員会の取組評価は、妥当とします。

議事（２）第３期大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

（事務局：上條リーダー）

次期総合戦略の策定につきまして、基本目標を４つに定めましたのでご報告いたします。資料１をご覧ください。目標１の[雇用]については、「笑顔で働きたくなるまち」としました。さらに市長から「地域で興す」という言葉を使用したいというご意見をいただきましたので、副題として「地域で興し働きたくなるまち」と設定いたしました。目標２の[人の流れ]につきましては、「笑顔で行き交うまち」と設定しました。目標３の[結婚、出産、子育て]につきましては、「笑顔で子育てしたくなるまち」と設定しました。また「笑顔」という言葉については、市長も大切にしていると認識しているため、全ての項目に入れております。最後に、目標４の[暮らしやすいまちづくり]につきましては、「住みたくなる笑顔あふれる魅力あるまち」と設定いたしました。

基本目標の方向性につきましては、具体的にどのようなものをイメージしてこの基本目標を設定したのかを記載し、コメントの部分では、さらにそこを深掘りしたような説明文を記載しております。

続いて資料２をご覧ください。こちらは第３期総合戦略の策定に向けた基本方針の概略となっております。基本目標やこの基本方針に基づいて、第３期総合戦略を概ね２月末頃までに策定できるように進める予定です。その中で設定していく施策や事業、ＫＰＩにつきましては、連続性や期間などに留意しながら設定をしたいと考えております。今後も皆様に途中経過をご報告し、ご意見をいただきながら２月末もしくは３月には策定したいと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

（竹下文仁委員）

ＫＰＩが達成されて、それが大月の人口減少問題の解決もしくは緩和、地域の活性化に繋がるものでないといけないと思います。ＫＰＩの設定は、その部分まで考慮されたものにしていただくもしくは、無理に設定しないという選択もあって良いと思います。

議事（３）その他

（事務局：福嶋）

大月仕事人の進捗状況につきまして、取材先が志村鉄工所の志村章太様と、うどん屋くらぎきの鈴木久弥様、TOMIYAの天野美佑様の３名に決まりました。１２月中に取材を終わらせるために、山口副議長と学生と調整しながら進めております。

4 閉会